



北杜市立 甲陵高等学校



所在地 〒408-0021 北杜市長坂町長坂上条2003番地
 電話 0551-32-3050
 F A X 0551-32-5933
 U R L <https://koryo.main.jp/hs/>
 E-mail koryo@yamanashi-koryo-h.ed.jp
 創 立 昭和32年4月1日
 課 程 全日制・普通科・単位制
 利用交通機関 JR中央線長坂駅より徒歩15分
 教員数 34名(正規)
 生徒数 355名



学科名	1 年		2 年		3 年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	57	59	57	63	46	73

将来像を見据えた教育

甲陵高校の生徒は多くが大学進学を目指しており、東京大学、京都大学をはじめ、難関国立大学や有名私立大学に多数合格しています。このような生徒一人ひとりの目標実現を手助けできるように、甲陵高校は万全のサポート体制を整えています。

目標を見つける

SSH指定校として、自らの興味関心にしたがって調査研究をしたり、フィールドワークや研修旅行に出掛けたりする機会を多く設けています。また、「キャリアトーク」では卒業生を中心に大勢の社会人を招き、仕事や生き方についての話を伺います。これら多くの経験を、文系理系にとらわれずに積み重ねていくことで、高校卒業後の目標を徐々に明確にしていけるようにします。

平成24年度から、文部科学省よりSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、現在3期目です。

校 訓

立志躬行

「立志」とは「志をたてること」、「躬行」とは「自ら実行すること」を意味します。

甲陵高校は、生徒一人一人が高校生活3年間というかけがえのない時間の中で、自分の将来像を描き、そしてその将来像に一步でも近づいていけるように、全力でサポートしています。

少人数クラスでの細やかな指導

1クラスの人数は30人を基準としており、学級担任は細やかに一人一人の生徒と向き合っています。また、生徒と学級担任との面談も頻繁に行われ、高校生活や進路選択が円滑に進むようにサポートをしています。

密度の濃い授業

授業は1日90分4コマで行っています。初めは長いと感じると思いますが、授業内容が細切れになることなく密度の濃い学習が可能になります。また、大学入試は1科目90分以上のものも多いので、90分のリズムを自然に身につけることができるのはとても有意義です。

学習習慣・学習内容が定着しやすい校内試験

校内試験は定期試験期間を設けず、代わりに、週末などに2ないし1科目ずつ試験を行います。これには、短いサイクルで復習して、生徒自身も教員も学習内容の定着度を確認できるという大きなメリットがあります。また、試験をペースメーカーとして考えて、高校入学後の早い時期に自ら学習習慣を確立していける生徒が数多くいます。

幅広い授業選択

ほとんどの学校は生徒自らが授業方法で講座を選ぶことはできませんが、甲陵高校では、国語・数学・英語を中心に講座選択制をとっています。個々の生徒が、科目によって異なる得手不得手を考慮し、講座のレベルや授業の進め方などをもとに講座を選択します。

自主性を伸ばす教育

自分たちで作り上げる生徒会活動

1年に2回「生徒会の日」という日があり、この日に何をするかは全て生徒に委ねられています。球技会を実施する場合は、試合日程、審判、選手の選出などを、音楽演奏会を実施する場合には、プログラム、照明、リハーサルなどを全て自分たちで考えて作り上げています。

また、部活動も生徒自らが考えて行動することを重視しており、充実した課外活動をしています。

<運動部>

弓道・卓球・テニス・男子バスケット・男子ハンドボール・女子ハンドボール・フェンシング

<文化部>

科学・演劇・合唱・写真・書道・吹奏楽・箏曲・茶道・美術・文芸・ユネスコ

<同好会>

コンピュータ・かるた・軽音楽・ラジオ・数学・バドミントン・女子バスケット・サッカー・トレーニング

ゼロから作る学園祭

例年、6月下旬に「紫蝶祭」という学園祭を行っています。この紫蝶祭も、テーマの設定、クラス発表、ステージ発表、スケジュール管理などを全て生徒の手で行っています。1年前から企画立案が始まり、最後には全校生徒が一致団結して、感動のフィナーレを迎えます。

自分で選ぶ修学旅行

2年次に行われる修学旅行は設定したコースの中から自分の好きなコースを選びます。過去に実施したコースは、海外はアメリカ・中国・韓国・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾、国内は北海道・関西・広島・九州・沖縄などがあります。

～県内屈指の進学実績～

過去3年間の合格大学 ※例年卒業生の半数を超える生徒が国公立大学に合格しています

◆**国立大学** 山梨、北海道、東北、東京、東京科学、一橋、名古屋、京都、大阪、九州、室蘭工業、秋田、山形、福島、茨城、筑波、群馬、埼玉、千葉、東京外国語、東京学芸、東京農工、東京海洋、お茶の水女子、電気通信、横浜国立、新潟、富山、金沢、信州、静岡、浜松医科、愛知教育、名古屋工業、神戸、島根、岡山、広島、山口、香川、愛媛、九州工業、大分など ◆**公立大学** 山梨県立、都留文科、国際教養、高崎経済、東京都立、横浜市立、長野、公立諏訪東京理科、愛知県立、名古屋市立、大阪公立、北九州市立など ◆**私立大学** 青山学院、学習院、慶應義塾、国際基督教、上智、中央、東京理科、法政、明治、立教、早稲田、同志社、立命館、関西、関西学院など

個性を活かした新時代の入試にも対応

令和6年度京都大学理学部、東北大学医学部及び理学部、令和7年度名古屋大学文学部、令和8年度東京大学教育学部、東京外国語大学言語文化学部、九州大学教育学部、東北大学文学部など、推薦型選抜、総合型選抜での合格者も多数輩出しています。

制服



甲陵高校には、いわゆる校則が必要最小限しかありません。例えば、女子の制服は、エンブレム付きの紺のブレザーにチェックのスカートまたはスラックスです。スカートの色は自由で、シャツも白色であれば形や素材は自由です。指定のポロシャツ（白または紺）も人気があります。

国際交流

本校の設置者である山梨県北杜市は、ケンタッキー州マディソン郡との姉妹地域交流を行っています。交流の一環として、甲陵高校とイースタンケンタッキー大学附属モデルラボラトリー高校は姉妹校交流を行っています。3月に本校の希望者がアメリカを訪れ、短期間のホームステイをしながらモデルラボラトリー高校に通います。10月には相手校の生徒が同様に本校を訪れて、交流活動を行います。